

平成22年静岡県の人口動態統計（確定数）の概況

目 次

	頁
人口動態調査の概要	1
静岡県における結果の概要	2
1 出 生	
（1）出生数・出生率	5
（2）合計特殊出生率	5
2 死 亡	
（1）死亡数・死亡率	6
（2）死 因	7
3 死産	10
4 婚姻・離婚	
（1）婚 姻	11
（2）離 婚	12
統 計 表	
表1 実数・率の年次推移	15
表2 2次保健医療圏・保健所・市町別 実数.....	17
表3 2次保健医療圏・保健所・市町別 率.....	21
表4 出生数、性、母の年齢（5歳階級）・2次保健医療圏・保健所・市町別	25
表5 死亡数、性・年齢（5歳階級）・死因简单分類別	29
表6 3大死因別にみた死亡数、2次保健医療圏・保健所・市町別.....	43
表7 乳児死亡数・新生児死亡数、性・死因（乳児死因简单分類）別 ...	45
付 表	
率算出に用いた人口	46
参 考	
本資料を含む主要な統計資料は、静岡県ホームページ（統計センターしずおか）に掲載しています。	
静岡県ホームページ（URL） http://www.pref.shizuoka.jp/	

人口動態調査の概要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態5事象（出生、死亡、婚姻、離婚及び死産）を把握し、各種施策の基礎資料とする。
- 2 調査の対象 戸籍法及び死産の届出に関する規程により届けられた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている。ただし、本概況では、日本における外国人及び外国における日本人の事象は除いている。
- 3 調査の期間 平成22年1月1日～12月31日
- 4 調査の方法 市区町長が、出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の届書に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所長、都道府県知事を経由して厚生労働大臣に送付する。
- 5 調査の系統 市区町村 → 保健所 → （保健所を設置する市・特別区） → 都道府県 → 厚生労働省
- 6 結果の集計 厚生労働省大臣官房統計情報部が行った。
- 7 用語の説明
 - (1) 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの
 - (2) 乳児死亡：生後1年未満の死亡
 - (3) 新生児死亡：生後4週未満の死亡
 - (4) 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
 - (5) 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
 - (6) 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
 - (7) 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 8 都道府県・市区町村別の集計は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

静岡県における結果の概要

1 出生数は減少

出生数は31,896人で、前年より5人減少したが、出生率（人口千対）は8.6で、前年も8.6であり同じ値となった。

また、合計特殊出生率は1.54で前年の1.43を上回った。

2 死亡数は増加

死亡数は36,420人で、前年より2,211人増加し、死亡率（人口千対）は9.8で、前年の9.2を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物（死亡数10,262人、死亡率（人口10万対）277.1）、第2位が心疾患（5,464人、147.6）、第3位が脳血管疾患（4,145人、111.9）となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は Δ 4,524人で、前年より2,216人減少し、自然増加率（人口千対）は Δ 1.2で、前年の Δ 0.6を下回った。

4 乳児死亡数・新生児死亡数はともに増加

乳児死亡数は68人で、前年より3人増加し、乳児死亡率（出生千対）は2.1で、前年の2.0を上回った。

また、新生児死亡数は34人で、前年より4人増加し、新生児死亡率（出生千対）は1.1で、前年の0.9を上回った。

5 死産数は減少

死産数は716胎で、前年より15胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は22.0で、前年の22.4を下回った。

6 婚姻件数は減少

婚姻件数は20,323組で、前年より393組減少し、婚姻率（人口千対）は5.5で、前年の5.6を下回った。

7 離婚件数は減少

離婚件数は7,241組で、前年より111組減少し、離婚率（人口千対）は1.96で、前年の1.98を下回った。

表1 人口動態総覧

	静岡県							全国			
	実数		率		全国順位		平均発生間隔	実数		率	
	22年	21年	22年	21年	22年	21年	22年	22年	21年	22年	21年
出生	31,896	31,901	8.6	8.6	15	14	16分29秒	1,071,304	1,070,035	8.5	8.5
男	16,344	16,389	9.0	9.0	…	…	32分10秒	550,742	548,993	8.9	9.0
女	15,552	15,512	8.3	8.3	…	…	33分48秒	520,562	521,042	8.0	8.1
死亡	36,420	34,209	9.8	9.2	32	34	14分26秒	1,197,012	1,141,865	9.5	9.1
男	19,072	18,354	10.5	10.1	…	…	27分34秒	633,700	609,042	10.3	9.9
女	17,348	15,855	9.2	8.4	…	…	30分18秒	563,312	532,823	8.7	8.3
乳児死亡	68	65	2.1	2.0	37	39	128時間49分25秒	2,450	2,556	2.3	2.4
新生児死亡	34	30	1.1	0.9	28	36	257時間38分49秒	1,167	1,254	1.1	1.2
自然増加	△ 4,524	△ 2,308	△ 1.2	△ 0.6	14	12	……	△ 125,708	△ 71,830	△ 1.0	△ 0.6
死産	716	731	22.0	22.4	40	39	12時間14分05秒	26,560	27,005	24.2	24.6
自然死産	379	354	11.6	10.8	23	28	23時間6分48秒	12,245	12,214	11.2	11.1
人工死産	337	377	10.3	11.6	40	37	25時間59分39秒	14,315	14,791	13.0	13.5
周産期死亡	134	110	4.2	3.4	24	43	65時間22分23秒	4,515	4,519	4.2	4.2
妊娠満22週以後の死産	107	94	3.3	2.9	…	…	81時間52分09秒	3,637	3,645	3.4	3.4
早期新生児死亡	27	16	0.8	0.5	…	…	324時間26分40秒	878	874	0.8	0.8
婚姻	20,323	20,716	5.5	5.6	10	11	25分52秒	700,214	707,734	5.5	5.6
離婚	7,241	7,352	1.96	1.98	21	15	1時間12分35秒	251,378	253,353	1.99	2.01
合計特殊出生率			1.54	1.43	15	15				1.39	1.37

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。

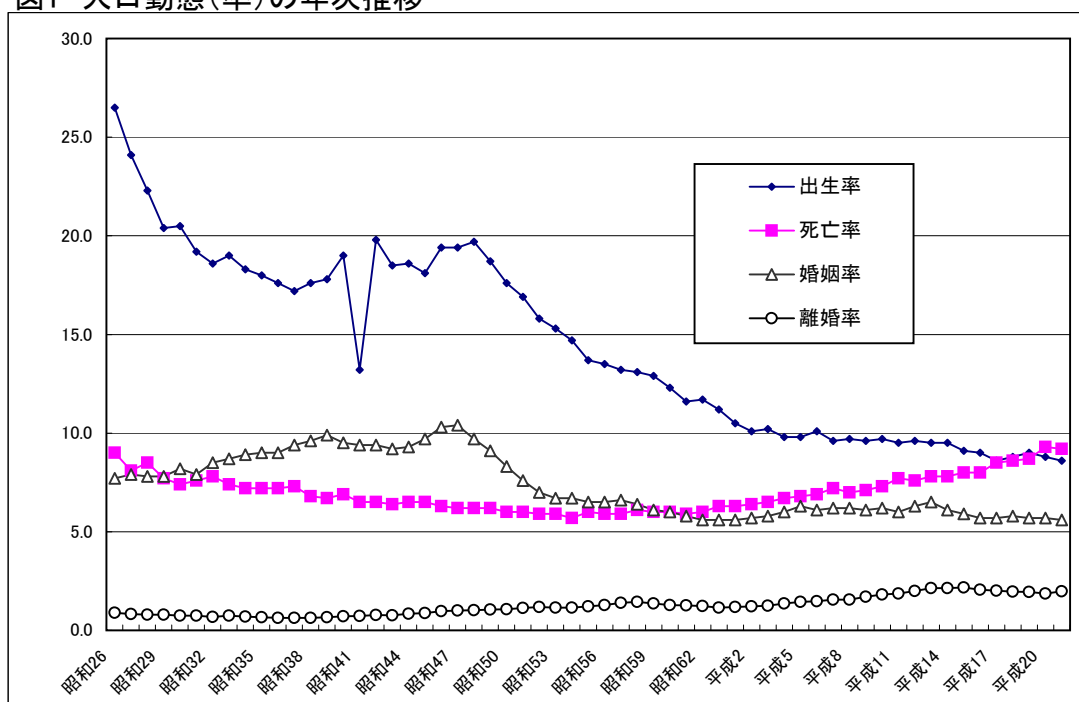
3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の平成22年国勢調査による基準人口である。

(静岡県・・・3,702,776人、全国・・・126,381,728人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
55	47,160	13.7	20,550	6.0	305	6.5	184	3.9	2,039	41.4	22,460	6.5	4,202	1.22
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
平成元年	38,075	10.5	22,769	6.3	144	3.8	73	1.9	1,503	38.0	20,435	5.6	4,302	1.18
2	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
3	37,385	10.2	23,850	6.5	175	4.7	103	2.8	1,334	34.5	21,356	5.8	4,571	1.25
4	35,973	9.8	24,619	6.7	164	4.6	80	2.2	1,321	35.4	22,000	6.0	5,017	1.36
5	36,098	9.8	25,089	6.8	153	4.2	73	2.0	1,191	31.9	23,144	6.3	5,292	1.44
6	37,462	10.1	25,503	6.9	151	4.0	86	2.3	1,196	30.9	22,724	6.1	5,426	1.47
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
8	36,081	9.7	26,089	7.0	118	3.3	60	1.7	1,074	28.9	23,117	6.2	5,795	1.56
9	35,606	9.6	26,343	7.1	116	3.3	65	1.8	1,026	28.0	22,513	6.1	6,298	1.70
10	35,921	9.7	27,178	7.3	107	3.0	57	1.6	1,017	27.5	23,134	6.2	6,780	1.82
11	35,395	9.5	28,753	7.7	111	3.1	62	1.8	1,080	29.6	22,429	6.0	6,976	1.87
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
13	35,193	9.5	28,914	7.8	86	2.4	42	1.2	1,044	28.8	24,019	6.5	7,967	2.14
14	35,212	9.5	28,894	7.8	94	2.7	57	1.6	1,067	29.4	22,635	6.1	7,985	2.14
15	34,061	9.1	29,813	8.0	109	3.2	68	2.0	1,038	29.6	21,817	5.9	8,087	2.17
16	33,628	9.0	29,809	8.0	83	2.5	46	1.4	960	27.8	21,304	5.7	7,688	2.06
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

平成22年の出生数は31,896人で、前年の31,901人より5人減少した。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成15年は3万5千人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。25～29歳、35～39歳では出生数は増加しており、特に35歳以上の母親からの出生数は増加しており、全体の22%を超えるまでになっている。

出生率（人口千対）は8.6で、前年の8.6と同数であった。

表3 出生数の年次推移、母の年齢(5歳階級)別

	出生数				対前年増減		割合	
	平成22年	21年	20年	12年	22年-21年	21年-20年	22年	12年
総数	31,896	31,901	32,701	35,793	△ 5	△ 800	100.0	100.0
～19歳	424	452	504	577	△ 28	△ 52	1.3	1.6
20～24	3,313	3,667	3,764	4,892	△ 354	△ 97	10.4	13.7
25～29	9,655	9,572	10,061	14,495	83	△ 489	30.3	40.5
30～34	11,447	11,530	11,918	11,922	△ 83	△ 388	35.9	33.3
35～39	6,162	5,889	5,700	3,514	273	189	19.3	9.8
40歳以上	895	791	754	393	104	37	2.8	1.1

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

平成22年の合計特殊出生率は1.54で前年の1.43を上回った。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていたが、平成15年以降は上昇傾向となっている。

表4 合計特殊出生率の年次推移

	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	13年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.40
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.33
14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年		
1.41	1.37	1.37	1.39	1.39	1.44	1.44	1.43	1.54		
1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39		

2 死 亡

(1) 死亡数・死亡率

平成22年の死亡数は36,420人で、前年の34,209人より2,211人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成5年には2万5千人を、平成17年は3万人を超えた。

平成22年の死亡率（人口千対）は9.8で、前年の9.2を上回った。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を超え、平成20年には9.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静岡県		全 国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成元年	22,769	6.3	788,594	6.4
2	23,543	6.4	820,305	6.7
3	23,850	6.5	829,797	6.7
4	24,619	6.7	856,643	6.9
5	25,088	6.8	878,532	7.1
6	25,503	6.9	875,933	7.1
7	26,666	7.2	922,139	7.4
8	26,089	7.0	896,211	7.2
9	26,343	7.1	913,402	7.3
10	27,178	7.3	936,484	7.5
11	28,753	7.7	982,020	7.8
12	28,323	7.6	961,653	7.7
13	28,914	7.8	970,313	7.7
14	28,894	7.8	982,379	7.8
15	29,813	8.0	1,014,951	8.0
16	29,809	8.0	1,028,602	8.2
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5

表6 死亡数、年齢(5歳階級)別

	死 亡 数			死 亡 率		
	平成 22 年	平成 21 年	対前年増減	平成 22 年	平成 21 年	対前年増減
総 数	36,420	34,209	2,211	983.6	923.3	60.3
0～4歳	88	88	0	55.3	53.9	1.4
5～9	13	18	△ 5	7.7	10.5	△ 2.8
10～14	19	14	5	10.8	7.9	2.9
15～19	42	37	5	25.3	20.5	4.8
20～24	81	69	12	51.8	40.3	11.5
25～29	90	85	5	45.8	44.5	1.3
30～34	144	162	△ 18	63.2	67.9	△ 4.7
35～39	212	204	8	77.3	74.0	3.3
40～44	260	243	17	105.5	99.0	6.5
45～49	393	422	△ 29	170.1	185.7	△ 15.6
50～54	660	650	10	289.7	279.2	10.5
55～59	1,140	1,166	△ 26	439.0	422.3	16.7
60～64	1,868	1,769	99	623.2	623.3	△ 0.1
65～69	2,544	2,370	174	1,018.0	926.0	92.0
70～74	3,264	3,249	15	1,549.6	1,576.5	△ 26.9
75～79	4,857	4,746	111	2,727.6	2,721.2	6.4
80～84	6,636	6,181	455	4,972.6	4,745.7	226.9
85～89	6,376	5,816	560	8,508.5	8,244.1	264.4
90歳以上	7,732	6,919	813	18,390.7	16,980.4	1,410.3

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

平成22年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物で10,262人、死亡率(人口10万対)277.1、第2位は心疾患で5,464人、死亡率147.6、第3位は脳血管疾患で4,145人、死亡率111.9となっており、この順位は平成11年以降同じである。

全死亡者に占める割合は、それぞれ28.2%、15.0%、11.4%であり死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率・死因順位

死 因	静 岡 県						全 国			
	平成22年			平成21年			平成22年		平成21年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	36,420	983.6	100.0	34,209	923.3	100.0	1,197,012	947.1	1,141,865	907.5
悪性新生物 (1)	10,262	277.1	28.2	9,769	263.7	28.6	(1) 353,499	279.7	(1) 344,105	273.5
心 疾 患 (2)	5,464	147.6	15.0	5,125	138.3	15.0	(2) 189,360	149.8	(2) 180,745	143.7
脳血管疾患 (3)	4,145	111.9	11.4	4,162	112.3	12.2	(3) 123,461	97.7	(3) 122,350	97.2
肺 炎 (4)	3,176	85.8	8.7	2,932	79.1	8.6	(4) 118,888	94.1	(4) 112,004	89.0
老 衰 (5)	2,220	60.0	6.1	1,817	49.0	5.3	(5) 45,342	35.9	(6) 38,670	30.7
不慮の事故 (6)	1,229	33.2	3.4	1,205	32.5	3.5	(6) 40,732	32.2	(5) 37,756	30.0
自 殺 (7)	854	23.1	2.3	804	21.7	2.4	(7) 29,554	23.4	(7) 30,707	24.4
腎 不 全 (8)	754	20.4	2.1	693	18.7	2.0	(8) 23,725	18.8	(8) 22,743	18.1
大動脈瘤及び解離 (9)	528	14.3	1.4	56	13.7	1.5	(11) 15,209	12.0	(12) 13,904	11.1
糖 尿 病 (10)	506	13.7	1.4	508	13.7	1.5	(12) 14,422	11.4	(11) 13,987	11.1

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。

表8 主な死因の順位、男女別(平成22年)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺 炎	不慮の事故
	死亡数	6,212	2,514	2,010	1,730	724
	死亡率	340.5	137.8	110.2	94.8	39.7
女	死 因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老 衰	肺 炎
	死亡数	4,046	2,950	2,135	1,699	1,446
	死亡率	215.4	157.1	113.7	90.5	77.0

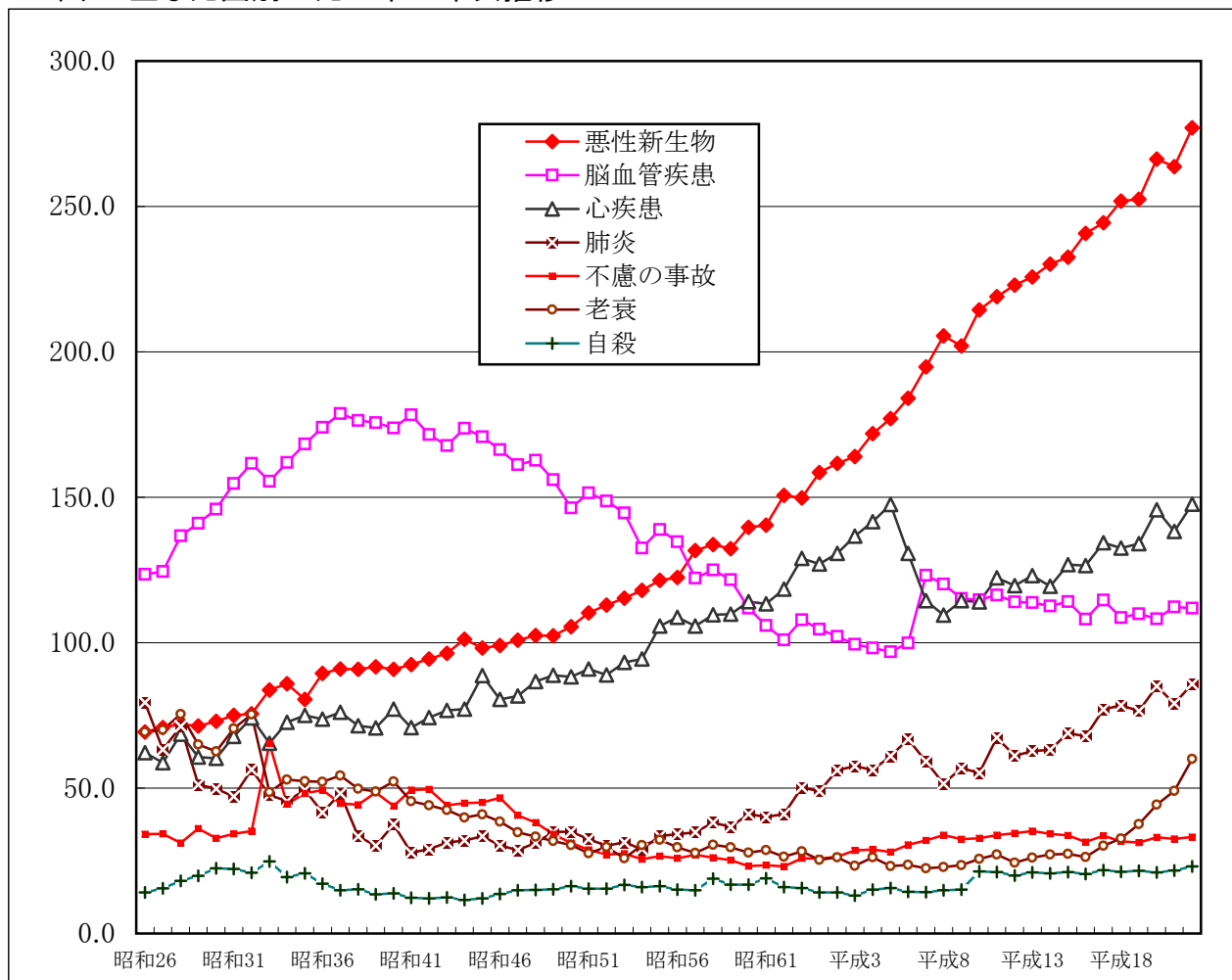
		第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
男	死 因	自 殺	老 衰	腎不全	慢性閉塞性肺疾患	大動脈瘤及び解離
	死亡数	626	521	406	406	299
	死亡率	34.3	28.6	22.3	22.3	16.4
女	死 因	不慮の事故	腎不全	糖尿病	大動脈瘤及び解離	自 殺
	死亡数	505	348	262	229	228
	死亡率	26.9	18.5	13.9	12.2	12.1

(注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死因順位の第1位となっている。

3大死因の本県の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が36位、心疾患が36位、脳血管疾患が22位となっている。

図2 主な死因別の死亡率の年次推移



(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,472人で最も多く、以下「胃」が893人、「大腸」が703人、「肝」が698人、「膵」が437人の順である。昨年は「肺」が1番目(1,321人)、「胃」が2番目(907人)、「肝」が3番目(678人)、「大腸」が4番目(657人)、「膵」が5番目(444人)であった。

女は「大腸」が546人で最も多く、以下「胃」が502人、「肺」が500人、「膵」が407人、「乳房」が390人の順となっている。この順位は前年と変わっていない。

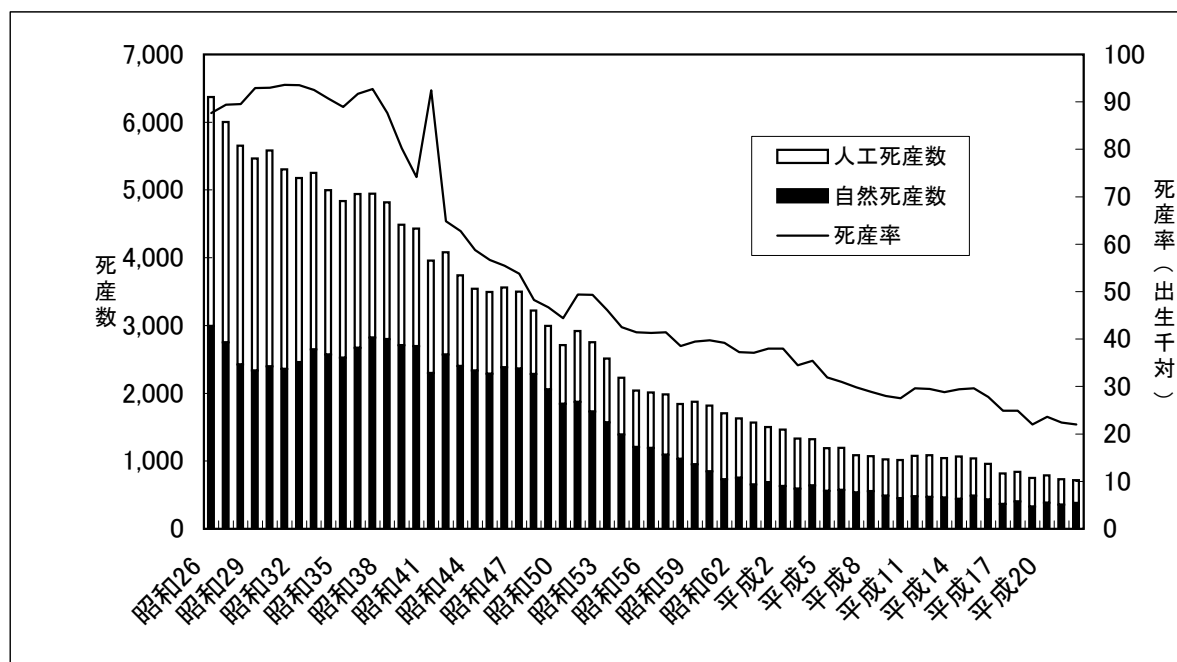
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

3 死産

平成22年の死産（妊娠満12週以後の死児の出産）数は716胎で、前年の731胎より減少し、死産率（出産（出産＋死産）千対）は22.0で前年の22.4を下回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年から昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

図3 死産数及び死産率の年次推移



4 婚姻・離婚

(1) 婚姻

平成22年の婚姻件数は20,323組で、前年の20,716組より393組減少し、婚姻率（人口千対）は5.5で、前年の5.6下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、平成15年以降6.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫30.4歳、妻28.5歳で、前年より上回った。

表9 婚姻の年次推移

	婚 姻			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0
50	27,541	8.3	941,628	8.5
55	22,460	6.5	774,702	6.7
60	21,501	6.0	735,850	6.1
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9
4	22,000	6.0	754,441	6.1
5	23,144	6.3	792,658	6.4
6	22,724	6.1	782,738	6.3
7	22,991	6.2	791,888	6.4
8	23,117	6.2	795,080	6.4
9	22,513	6.1	755,651	6.2
10	23,134	6.2	784,595	6.3
11	22,429	6.0	762,028	6.1
12	23,550	6.3	798,138	6.4
13	24,019	6.5	799,999	6.4
14	22,635	6.1	757,331	6.0
15	21,817	5.9	740,191	5.9
16	21,304	5.7	720,417	5.7
17	21,056	5.7	714,265	5.7
18	21,663	5.8	730,971	5.8
19	21,150	5.7	719,822	5.7
20	21,193	5.7	726,106	5.8
21	20,716	5.6	707,734	5.6
22	20,323	5.5	700,214	5.5

(注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静 岡 県			全 国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
4	28.4	25.9	2.5	28.4	26.0	2.4
5	28.5	26.0	2.5	28.4	26.1	2.3
6	28.5	26.1	2.4	28.5	26.2	2.3
7	28.6	26.2	2.4	28.5	26.3	2.2
8	28.6	26.3	2.3	28.5	26.4	2.1
9	28.6	26.5	2.1	28.5	26.6	1.9
10	28.7	26.6	2.1	28.6	26.7	1.9
11	28.6	26.7	1.9	28.7	26.8	1.9
12	28.7	26.8	1.9	28.8	27.0	1.8
13	28.9	27.0	1.9	29.0	27.2	1.8
14	29.1	27.2	1.9	29.1	27.4	1.7
15	29.4	27.4	2.0	29.4	27.6	1.8
16	29.6	27.6	2.0	29.6	27.8	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
18	29.9	27.9	2.0	30.0	28.2	1.8
19	30.0	28.1	1.9	30.1	28.3	1.8
20	30.0	28.1	1.9	30.2	28.5	1.7
21	30.2	28.2	2.0	30.4	28.6	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7

(2) 離 婚

平成22年の離婚件数は7,241組で、前年の7,352組より111組減少し、離婚率（人口千対）は1.96で、前年の1.98より減少した。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降は減少に転じていたが、平成21年に再び増加したが、平成22年は減少に転じた。

表11 離婚の年次推移

	離 婚			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
4	5,017	1.36	179,191	1.45
5	5,292	1.44	188,297	1.52
6	5,426	1.47	195,106	1.57
7	5,723	1.55	199,016	1.60
8	5,795	1.56	206,955	1.66
9	6,298	1.70	222,635	1.78
10	6,780	1.82	243,183	1.94
11	6,975	1.87	250,529	2.00
12	7,380	1.99	264,246	2.10
13	7,967	2.14	285,911	2.27
14	7,985	2.14	289,836	2.30
15	8,087	2.17	283,854	2.25
16	7,688	2.06	270,804	2.15
17	7,474	2.01	261,917	2.08
18	7,281	1.96	257,475	2.04
19	7,208	1.94	254,832	2.02
20	6,959	1.87	251,136	1.99
21	7,352	1.98	253,353	2.01
22	7,241	1.96	251,378	1.99

(注) 離婚率は人口千対

表12 同居期間別離婚件数の推移

	総 数	1年未満	1～5	5～10	10～15	15～20	20年～
昭和55年	4,202	395	1,153	1,173	723	444	299
60	4,572	374	1,188	976	861	592	574
平成2年	4,432	420	1,375	889	568	563	592
3	4,571	246	1,398	921	558	602	714
4	5,017	374	1,532	1,056	655	579	775
5	5,292	415	1,674	1,047	678	561	873
6	5,426	441	1,725	1,110	722	543	830
7	5,723	477	1,840	1,155	731	529	901
8	5,795	480	1,867	1,202	688	501	921
9	6,298	503	2,062	1,240	727	576	960
10	6,780	467	2,167	1,326	787	586	1,032
11	6,975	520	2,165	1,406	792	607	1,044
12	7,380	498	2,281	1,643	899	651	1,049
13	7,967	566	2,500	1,799	986	689	1,168
14	7,985	549	2,363	1,859	1,058	720	1,183
15	8,087	518	2,405	1,757	1,069	737	1,310
16	7,688	556	2,331	1,687	995	670	1,172
17	7,474	505	2,242	1,658	1,001	638	1,129
18	7,281	496	2,205	1,645	924	689	1,023
19	7,208	561	2,102	1,552	935	643	1,175
20	6,959	514	2,083	1,521	905	611	1,051
21	7,352	529	2,142	1,548	977	738	1,140
22	7,241	450	2,050	1,635	1,008	722	1,092

(注) 総数には同居期間不詳を含む。